

関東大震災 100年 地震の災害化を防ぎ

被災者本位の復旧・復興めざして

災害対策 全国交流集会 2023 オンライン開催

南関東一帯の広い地域に被害をもたらし、10万を超える死者・行方不明者を生み出した関東大震災から100年。この間に阪神淡路大震災、東日本大震災をはじめとする未曾有の災害がくり返して発生してきました。また、近年、地球沸騰化のもとで異常気象による風水害被害も激甚化しています。災害対策全国交流集会は、こうした災害を通じた活動経験を交流し、被災者の現状・課題を共有、支援策を教訓化する集会をめざします。また、被災地の復興状況や被災者がかかえる問題をあらためて検証、共有し、政府による被災者切り捨てや原発再稼働などを許さず、公的責任による被災者本位の復旧・復興の課題と、それら防災・減災対策にどうかすかを考え、交流し学ぶ集会を開催します。

講演



関東大震災100年 災害の歴史から何を学ぶか
鈴木浩（福島大学名誉教授）
（質疑・討論）

日時

11月12日（日）11:00開会～16:00閉会

ONLINE

事前登録制

- ZOOMミーティング参加登録フォーム
- 右のQRコード もしくは <https://x.gd/hTAKM>で



参加費無料

<登録は11月2日（水）までに。分科会は2面参照>

主催 災害対策全国交流集会 2023

<実行委員会の構成・連絡先>

- 全国災対連 ○復興岩手県民会議 ○みやぎ県民センター
- 宮城災対連 ○ふくしま復興共同センター ○東京災対連

<連絡先> 〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4階 全労連気付 TEL03(5842)5611 FAX03(5842)5620
<http://www.zenkoku-saitairen.jp/> Email: saigai-shien-kaizen@zenkoku-saitairen.jp

スケジュール(予定)

午前

11:00 開会
11:10 講演
12:15 (昼食休憩)

午後

13:00 分科会
15:30 分科会報告と全体討論
全体まとめ
16:00 閉会

講師プロフィール

(現) 福島大学名誉教授・(財) 地球環境戦略研究機関シニアフェロー
◇ 東日本大震災にあたって福島県復興ビジョン検討委員会座長をつとめ、「原子力に依存しない、安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり」を基本理念とした復興ビジョンを策定。また、浪江町復興計画策定委員会委員長／双葉町復興まちづくり委員会副委員長／女川町復興計画策定委員会委員長など住民参加の地域の復興に尽力されました。元日本住宅会議副理事長
<著書> 福島原発災害 10年を経て、(共著) 東日本大震災 復興まちづくり最前線など多数

分科会の運営

被災者の住宅再建支援制度の改善、「災害ケースマネジメント」の法制度、自治体の独自支援制度の拡大のポイントを共通課題にすすめる。

第1分科会・防災

- ① テーマ：地震災害に備える 助言者・千代崎一夫 (東京災対連代表)
- ② テーマ：異常風水害に備える 助言者・梶田昌義 (国土交通労組)

第2分科会・復興

- ③ テーマ：災害ケースマネジメント 助言者・小川澗治 (宮城県民センター事務局長)
- ④ テーマ：住民主体の災害復興 助言者・鈴木浩 (福島大学名誉教授)



ひふくしょう

左：墨田区被服廠跡の惨状
上左：焼け野原の東京駅前
上右：酒匂川橋梁の崩落 (神奈川県)